

外来魚の駆除について

全国内水面漁業協同組合連合会

ブラックバスやブルーギル等外来魚に対する駆除対策として、当会としては、17年前にすでに「資源抑制技術マニュアル」を作成しているところであり、その後、外来魚の全国各地への拡大にともに、水産研究所、水産試験場、大学等の支援により漁協・漁業者が各種の駆除対策を実施しているところであるが、その経費と労力は膨大なものとなっている。

それは、平成14年度及びその追加版として16年度に取りまとめられた「外来魚駆除事例集」（全内漁連及び内水面外来魚管理等対策委員会作成）をご覧いただければ明白である。（14年度64事例、16年度105事例）

そこで、この事例集の概要をご紹介したい。（別添「事例集」（抜粋）資料）

この事例集にあるように、各地の漁協・漁業者は、駆除対策に大変な苦勞と経費を掛けているところであり、また、密放流防止対策として監視員を配置したり啓発活動を行う労力・経費もまた大変であり、加えて、現在までの在来魚種の外来魚による被害は、多大なものとなっていることから、漁協、漁業者の経営は、まさに存続を危うくしているといっても過言でない。

従って、今後、これらの駆除等のノウハウについては活用できるものの、労力や経費をさらに漁協・漁業者に負担させることは困難であり、国、地方公共団体が中心になって駆除・密放流防止体勢を確立し、財政的な対応を行なうとともに、環境関係等団体やさらには、一般市民による協力も不可欠であると考えている。

また、駆除技術の確立についても、研究機関においてさらに積極的な対応を願いたいと考えている。

なお、駆除の効果を挙げるためには、密放流の防止が不可欠であるので、この対策の強化もお願いしたいと考えている。

駆除事例検索表

(注) 平成14年度の事例

魚種	水体	効果	漁法	駆除事例	
オオクチバス	湖沼	◎	定置網	1	
			夕モ網	48	
		○	定置網	14,49	
			刺し網	39,49	
			投網	39	
			四手網	39	
			網うけ	39	
			エビカゴ	39	
			夕モ網	39	
			潜水	62	
		△	刺し網	60	
			投網	60	
		×	定置網	10	
		?	地曳網	7	
			船曳網	2	
			刺し網	57	
		ダム湖	○	定置網	45
	刺し網			28,42,59,61	
	投網			59	
	釣り			43	
	×		刺し網	55	
	?		刺し網	54	
			延縄	53	
	農業用溜池及び小湖沼*	◎	水抜き	5,6,8	
			刺し網	47,64	
			投網	31,47,64	
			釣り	34	
			地曳網	4,12	
			潜水	33,64	
			水抜き	9,12	
		×	刺し網	11	
			?	籠	44
				刺し網	3
河川	○	刺し網	13,,40,41,63,64		
		投網	64		
		潜水	64		
		地曳網	40		
	?	定置網	38		
		刺し網	56,58		
		投網	38		

*:0.1平方km(10ha)以下の水体を小湖沼とした。

魚種	水体	効果	漁法	駆除事例	
コクチバス	湖沼	◎	投網	22	
			巻き網	23	
			潜水	24	
		○	定置網	49	
			刺し網	35,49	
			地曳網	17	
			潜水	36	
			△	刺し網	20
			×	定置網	19
		釣り		21	
		延縄		18,37	
		?		船曳網	2
		ダム湖	○	刺し網	25,28,29,42
	投網			25	
	釣り			43	
	潜水			25	
	?		定置網	50	
			刺し網	51	
			延縄	52	
	小湖沼 河川	○	釣り	34	
			◎	地曳網	26
		ヤス		27	
		○	刺し網	16,40	
			地曳網	40	
			潜水	16	
		?	ヤス	16	
			投網	15,38	
			定置網	38	
		ブルーギル	湖沼	○	定置網
	刺し網				49
	潜水				62
	△			刺し網	60
				投網	60
?	船曳網			2	
	ダム湖			○	定置網
			刺し網		61
			投網		59
釣り			43		
×			刺し網	55	
小湖沼	○		刺し網	47,64	
			投網	47,64	
		潜水	64		
	河川	○	刺し網	40,64	
地曳網			40		
投網			64		
			潜水	64	

事例-1

対象魚種 オオクチバス

実施水域

名称	高瀬川水系 小川原湖
位置	青森県 上北郡 上北町
標高	約 0 m
水温	月 日 最高 °C 午前・午後 時 °C
湖沼形態	天然湖(汽水湖)
水面積	約62.5Km ²
最大水深	約26m
平均水深	約11.5m
湖岸形状	人口護岸(垂直護岸)、浜(砂浜)、水生植物帯(ヨシ帯、藻)

外来魚生息状況

経緯	
生物相の変化	
生息状況	

駆除方法

漁法	定置網
構造	別紙小川原湖の漁業の方法を参照
材質	別紙小川原湖の漁業の方法を参照
規格	別紙小川原湖の漁業の方法を参照
作業手順	湖内15ヶ所において6月～12月までの間、漁師に依頼して駆除を実施
作業人数	定置網は、一人ないし二人で作業する。
必要時間	通常の網あげ時に選別する時間のみ
実施時期	6月～12月

駆除の状況

実施時期、回	6月～12月の15ヶ所に設置
漁獲量	1,059尾 詳細は別紙
混獲の状況	有(通常の漁のため)
経費	780,000
負担区分	国 1/2 町 1/4 漁協 1/4

効果及び留意点

駆除の効果	効果は大きい長期的駆除が必要
他漁法との比較	
効果的な方法	
注意する点	駆除した魚は内水試で調査
その他	組合員 616名 わかさぎ・しらうお・コイ・フナ等の淡水魚

事業実施主体

青森県 上北町

問い合わせ先

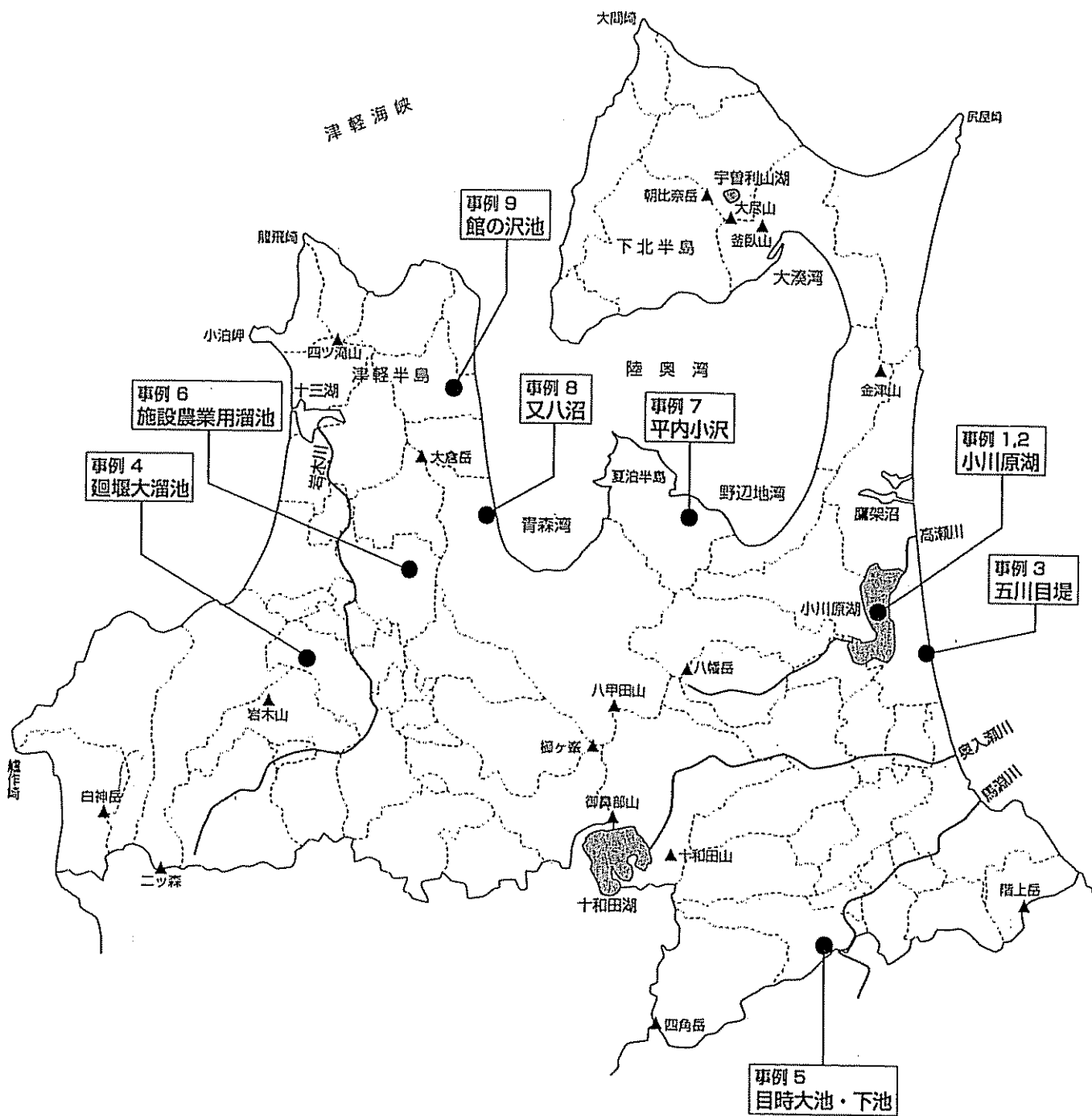
上北町農林課TEL0176-56-3111 小川原湖漁業協同組合TEL0176-56-2104

小川原湖の漁業

漁法の名称	ふくろ網漁
漁具のしくみ	
漁の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○水深2m〜3mに定置する。(アンカーによる固定) ○毎早朝、船で袋部を引きあげ再度固定する。
対象魚種	わかさぎ・しらうお・こい・ふな・うぐい・はぜ
漁業の期間	4月21日〜 6月20日 9月 1日〜翌年3月15日

小川原湖の漁業

漁法の名称	胴網漁
漁具のしくみ	<p> 6m 袋部 4m ナイロン 28mm~32mm モジ網 (ナイロン製) 4×4 120mm~140mm アバ クレモナロープ セト足及び鉛 アンカー 手網の断面 1m 30m ナイロン網 (2mm) 1.4mm~2.0mm </p>
漁の方法	<p> ○水深1m前後に固定する。(杭または、アンカーによる固定) ○毎早朝、船または、直接岸から胴付ぐつをはいて袋部を引きあげ再度固定する。 </p>
対象魚種	はぜ・えび
漁業の期間	通年



駆除を実施している水域（青森県）